

12月18日(土) 商業大会 2回戦レポート

商業大会 2回戦が行われました。相手は都立葛飾商業高等学校(以下葛商、敬称略)となりました。

(Q:クォーター、OF:オフェンス、DF:ディフェンス)

ビッグマンを擁する葛商に対して、速い展開の OF と厳しいボールマン DF、ビッグマンに対しての DF を準備したとおりに出来るかがポイントでした。

1Q 初めから硬さが取れず、相手に合わせる展開に。自分たちのテンポで試合を進められませんでした。DF においても集中力がありませんでした。15-6。

2Q では、変わったメンバーが思うようにプレーできず、ひいて守る相手の DF に対して無理な OF を仕掛けたり、ビッグマン中心に OF を組み立てる葛商に対してポストに簡単にボールを入れさせて得点されました。前半を 37-28 でリードを広げられずに折り返します。

3Q、スターティングメンバーに戻し、点差を引き離しにかかります。中盤までは相変わらず、相手に付き合う展開でしたが、3Q 終盤からようやく落ち着いたプレーや正しい判断ができるようになり、ドライブからの合わせやキックアウトからの 3P を沈め、期待値の高いシュートが打てるようになりました。3Q 終了、64-46。

4Q、つばさ総合は 3Q の流れで連続得点を記録し、代わって入ったプレイヤーも積極的な DF から、速攻を出し流れを作ります。最終的には登録メンバー全員が試合に出場することができ、最終スコア 83-63 で試合終了。



18 日の試合は、前回の王子総合同様に複数選手でタイムシェアをして戦えたことは、良かったと思いま

す。しかし、終始、相手のペースに合わせて、自分たちの形が出せないままでした。マンツーマン DF のカバー、カバーダウン。トランジションのスピードが練習してきた水準ではありませんでした。どんな相手に対しても自分たちのバスケットができるように改善していきます。



12月19日(日) 商業大会 準決勝 レポート

商業大会、準決勝の相手は都立芝商業高校(以下、芝商 敬称略)です。

1Q、序盤からつばさ総合の選手が次々と3Pを決めてOFでリズムを作り、試合の主導権を握りました。DFでも、前日まで曖昧だった2線、3線のDFを的確に行い、個人技術が高い相手に対して集中力のあるチームDFができました。終盤からは芝商もOF、DFを効果的にいき、リードを広げられない展開に。22-12で終わりました。

2Q、つばさ総合は芝商のマンツーマンDFにリズムを崩され、いい形でシュートを打たしてもらえない場面や、苦し紛れに3Pを打ってしまうことが目立ちました。DFについても集中力が切れるところが目立ち、立て続けに得点を許してしまいました。対する芝商業は早い展開からの2Pと50%の確率で3Pを決まってきました。差を縮められ、38-35で前半を折り返します。

3Q、前半の悪い流れを払拭できないつばさ総合は開始直後から集中力が切れてしまい、立て続けにミス、ターンオーバーをしてしまい、一気に逆転されてしまいます。ここまでほとんどとっていたDFリバウンドもボックスアウトしきれず、OFリバウンドからのセカンドチャンスをことごとく決められてしまいました。芝商は#13の激しいコンタクトプレーや速攻からリズムを作り、得点を重ねていきます。50-58。

4Q、疲れの見え始めたつばさ総合は引き続きターンオーバーを数多く記録してしまいます。得点差の焦りから、無理なドライブを仕掛けてしまい、潰されるシーンが目立ちました。DFについても、足が止まり相手にファウルをしてしまいます。芝商は獲得したフリースローを高い確率で決め、点差を広げられます。試合終盤、こちらも意地を見せ、ハードなプレッシャー、#5の3Pや#2の積極的なドライブからの得点で反撃を試みますが得点差を縮められずに、63-76で試合終了。



新人戦と同様に1Qでリードする展開が作れたことは良かったことです。また、個の能力が高い相手に対して序盤のハードなチームDFで簡単に得点されない場面が多く見られたことは練習の成果だといえます。しかし、3Pを決めた後やいい形でOFを作り得点した後のDFが1試合を通して集中力がありませんでした。それが、勝ちきれなかった大きな要因の1つだと捉えています。強度の高い試合になったときに集中力を保ち続けること、戦い切る体力をつけることは今後もチームの大切な課題になりました。



優勝を目指して出場した商業大会ですが、3位という結果で終わってしまいました。目標は達成できませんでしたが、今回の大会を通して、色々なチームや会場の方と関わらせていただくことで、競技力だけでなく様々な面でチームとして更に成長することができました。大会を運営して下さった方、応援して下さった方々に感謝することを忘れず、更に良いチームになれるように生徒、顧問共々努力を重ねていきます。

今後とも、応援よろしくお願いいたします!

文責 林